

科目名	国語	科目コード	10010
-----	----	-------	-------

学科名・学年	機械工学科・1年
担当教員	猪平直人（一般教育科）・丸山俊
単位数・区分	3単位・必修
開講時期・時間数	通年，90時間【内訳：講義84，その他6】
教科書	展開国語総合，桐原書店，検定済02
補助教材	新総合図説国語（東京書籍，03）基礎からの国語表現の実践（京都書房，05） 上記のほか、漢字練習用問題集を使用予定。随時、担当者によるプリント等。
参考書	授業時間中に随時指示する。

【A．科目の概要】

中学校での学習を発展させ、国語を正しく理解し、適切に表現するための力を養う。3単位中おおむね2単位を現代文・国語表現に、おおむね1単位を古典に当て、1年間の学習を通して、思考力を向上させ、情操を豊かにし、伝え合う力を高める。また、言語文化の諸相に触れることによって、自らの世界観を広げ、言語生活を充実させる態度を育てる。

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目の到達目標を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
文章の叙述に即して内容を的確に読み取る。	-	-
さまざまな文章を読んで、ものの見方・感じ方・考え方を広げる。	-	-
常用漢字の読み方・書き方に習熟する。	-	-
文語のきまり、訓読のきまりなどを理解する。	-	-
国語の表現の特質を理解し、言語表現への関心を高める。	-	-

【C．履修上の注意】

平生の予習・復習を欠かさないことが何よりも重要である。授業で扱う教材は、事前に必ず通読し、語句の読みや意味を調べておくこと。特に、古文・漢文については、音読の練習を欠かさないこと。また、辞書や参考書を活用する習慣を身につけること。

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

定期試験（80%）【内訳：前期中間20，前期末20，後期中間20，後期末20】

その他（20%）

【E. 授業計画・内容】

前期

週	内容	備考
1	随想・評論の読解(1) 古文の基礎(1)	
2	随想・評論の読解(2) 古文の基礎(2)	
3	随想・評論の読解(3) 古文の基礎(3)	
4	小説の読解(1) 古文の基礎(4)	
5	小説の読解(2) 古文の基礎(5)	
6	小説の読解(3) 古文の基礎(6)	
7	前期中間試験	試験時間：50分
8	随想・評論の読解(4) 漢文の基礎(1)	
9	随想・評論の読解(5) 漢文の基礎(2)	
10	随想・評論の読解(6) 漢文の基礎(3)	
11	随想・評論の読解(7) 漢文の基礎(4)	
12	国語表現の実践(1) 漢文の基礎(5)	
13	詩歌の読解・鑑賞(1) 漢文の基礎(6)	
14	詩歌の読解・鑑賞(2) 漢文の基礎(7)	
-	前期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	

後期

週	内容	備考
1	小説の読解・鑑賞(1) 古文の読解(1)	
2	小説の読解・鑑賞(2) 古文の読解(2)	
3	小説の読解・鑑賞(3) 古文の読解(3)	
4	小説の読解・鑑賞(4) 古文の読解(4)	
5	随想・評論の読解(8) 古文の読解(5)	
6	随想・評論の読解(9) 古文の読解(6)	
7	後期中間試験	試験時間：50分
8	国語表現の実践(2) 漢文の読解(1)	
9	随想・評論の読解(10) 漢文の読解(2)	
10	随想・評論の読解(11) 漢文の読解(3)	
11	国語表現の実践(3) 漢文の読解(4)	
12	小説の読解・鑑賞(5) 漢文の読解(5)	
13	小説の読解・鑑賞(6) 漢文学習のまとめ	
14	小説の読解・鑑賞(7) 古文学習のまとめ	
-	後期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	